

☆県新人大会

県新人大会が行われています。伊勢崎市や前橋市、太田市、高崎市はもちろん、榛名町や大泉町、榛東村や千代田町、明和町など、あずま中生が群馬県中を舞台にがんばっています。

いつもお話ししていますが、伊勢崎市から1時間も2時間もかけて皆さんを送り迎えしてくださったり、そのために早朝からご飯の支度をしたり、持ち物や荷物の整理までしてくださったりしているお家の方々の支援を当たり前だと思えないように、感謝の気持ちを忘れないようにしてほしいと思います。そういうことを考えられる選手が良い選手になっていると思います。

さて、群市大会を勝ち抜いて県大会まで来ても、思うように戦えず、悔しい思いをすることはあります。自分の納得のいくような結果が出ないことはあるものです。

納得のいく結果。それは「優勝」「1位」ということだと思いますが、予選リーグがある場合は別として、「優勝」「1位」になるということは、「1回も負けない」「誰にも負けない」ということです。みんなが目指す目標ですが、勝ち取るのは全出場者の中で「1人」「1チーム」だけです。

大切なことは、勝っても負けても、そのあとに何が出来るかです。悔しい思いをしたときはもちろんですが、うまくいっているときも含めて、「自分に何が出来て、何が出来ないのか」「自分の強いところはどこなのか」「どんなところに弱さがあるのか」「どうすれば、より良くなるのか」を考えることが大切です。

サッカー選手で、J1の「横浜マリノス」で活躍し、現在、J2「横浜FC」に所属している中村俊輔選手は、自分が試合でプレーした全ての内容を覚えていて、あとで振り返って、きちんと分析しているそうです。

顧問の先生は様々な指示や指導をしてくださいますが、自分だけでじっくりと振り返ることも大切です。大会だけでなく、練習試合も含めて、内容を全て振り返れるくらい、集中しながら、考えながら取り組めると、春につながりますね。



☆AZM活動

21日(月)の朝も、AZM活動をしてくれた生徒がたくさんいました。この日は「生徒会本部役員」「陸上部」「サッカー部」の「あいさつ運動」の他に、3年生の有志が玄関を掃除してくれました。放送室前の模造紙にも「サンクスカード」が次々に貼られています。



AZM活動を行うことが目的ではなく、活動を行うことにより、生徒や学校がより良くなることが大切なわけですが、いずれにしても、一生懸命に取り組んでいる姿は見ている気持ちの良いものです。

☆本当の喜び

跳び箱8段を跳べるあなたが、6段を跳んで、「すごいね!」「よくできたね!」と褒められても、あまりうれしくないでしょう。でも、8段までしか跳べないあなたが、必死で努力して、練習を積み重ねて、12段を跳ぶことができたなら、たとえ人に褒めてもらえなくても、自分の中の喜びは大きいのではないのでしょうか。



褒められたり、認められたりする事は、誰でも嬉しいものですが、今できることを褒められるより、「できなかったこと」「難しいこと」「無理だと思っていたこと」が、**一生懸命に努力した結果できるようになったとき、本当の喜びを感じるのではないのでしょうか。**

しかし、それには努力が必要です。たくさん練習しなければならないでしょう。仲間に分かってもらえず辛い思いがあるかもしれません。何かを犠牲にしなければならないかもしれません。(「ゲームをしたい」「遊びたい」「早く部活に行きたい」「面倒くさい」などなど)

先ほど言いましたが、「楽にできること」「今できること」ができて感動は無いのです。たいへんな思いや嫌な思いを乗り越えた先に喜びはあるのだと思います。もちろん、「楽しいから頑張れる」ということも忘れてはいけません。

合唱の練習は面倒くさいことがあるかもしれませんが、クラス全員が同じ気持ちで取り組めるとは限りません。でも頑張った先にあるものは、結果はどうであれ、素晴らしいものだと思います。そうでなければ、合唱コンクールなんて、とっくに無くなっています。

今年で56歳になる私も、中学生の時にやりました。今でも良い思い出が残っています。そういう素晴らしい行事です。「同じやるなら一生懸命 どうせやるなら一生懸命」です!

☆熱く燃えています!



いよいよ明日が「合唱コンクール」ですね! どの学年も、どのクラスも、全力で練習しているところだと思います。教室の掲示物も気持ちがこもっています。練習の様子も「最後の仕上げ」といったところでしょうか。



体育祭の時にもお話ししましたが、今のクラスの仲間と練習している曲を歌うのは、最初で最後です。歌い終わった瞬間に、「やった!」「力を出せた!」と思えるような合唱にしよう! やり切ろう! 全てを出し切ろう!!

(紙面の都合上、3年生の合唱曲のポスターのみ載せました)